

いただいた質問の趣旨が変わらない範囲で、質問の文面は編集しています。  
The questions have been edited to the extent that the content of the questions does not change.

No.	質問/Question	回答/Answer
1	GraSPPが公開している交換留学と大学全体としての交換留学がどのように棲み分けられているのか？例えば、GraSPPのwebsite上（ <a href="http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/student-activities/double-degree-program/">http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/student-activities/double-degree-program/</a> ）に記載されていても全学交換留学に記載されていないのは何故なのか？また、GraSPPの学生が全学交換留学のリストに記載されている大学院生対象の留学先を選択するのは可能なのか？	<p>学部・研究科レベルの交換留学、つまり部局間交換留学と、全学交換留学の違いについての質問としてお答えします。部局間交換留学と、全学交換留学は、協定校のリストが異なります。別の交換留学の仕組みとして、併存しています。ある研究科・学部のウェブサイトに「交換留学の協定校」として掲載されているのは、部局間交換留学のリストです。</p> <p>例えば公共政策学教育部の大学院生なら、公共政策教育部の部局間交換留学に申請することもできますし、全学交換留学に申請することも、協定校が定めた資格・条件を満たせば、可能です。</p> <p>全学交換留学は、部局間交換留学に比べて、相対的に広い分野の学習・研究が可能である、宿舍等で比較優先される、といったメリットがあります。</p>
2	二年生の出願締め切り 行く学校の決め方など、自分で調べべきと言うのはわかるが、自分も周りも留学経験がない中、何から調べればいいのかかわからない状態です。	<p>2年生の出願締め切りは、「グローバル駒場」のウェブサイト（<a href="https://www.globalkomaba.c.u-tokyo.ac.jp/">https://www.globalkomaba.c.u-tokyo.ac.jp/</a>）をよく確認してください。行く協定校の調べ方ですが、もし周囲の方にも留学経験が無く、先輩の話を聞きたい、ということなら、駒場グローバルゼーションオフィスが実施している学生留学アドバイザー制度（<a href="https://www.globalkomaba.c.u-tokyo.ac.jp/outbound/planning/StudyAbroadAdvisors.html">https://www.globalkomaba.c.u-tokyo.ac.jp/outbound/planning/StudyAbroadAdvisors.html</a>）を活用されてはいかがでしょうか。また、Go Globalウェブサイトには、多くの留学経験者の体験談を掲載（<a href="https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/report-list-USTEP.html">https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/report-list-USTEP.html</a>）していますので、そこから興味のある協定校を探すのもよいと思います。体験談を書いた過去の留学経験者に連絡を取りたい場合は本部国際交流課（<a href="mailto:studyabroadfair.adm[atmark]gs.mail.u-tokyo.ac.jp">studyabroadfair.adm[atmark]gs.mail.u-tokyo.ac.jp</a>）にその旨ご連絡ください。</p>
3	最大募集人数と実際に選考に通る人数にはどの程度の開きがありますか？	<p>最大募集人数と実際選考に通る人数の開きですが、多くの協定校では、1枠は1セメスターとなります。そのため、すべての学生が2セメスター派遣となると、計算上、実際に選考に通る人数は、最大募集人数の半分以下となる可能性があります。協定校や年度にもよるので、一概にどの程度開きがあるとは言えません。過去の応募状況を掲載（<a href="https://www.u-tokyo.ac.jp/content/400169361.pdf">https://www.u-tokyo.ac.jp/content/400169361.pdf</a>）していますので、ご参考にしてください。最大募集人数は年によって変わりますが、大幅に変わることはまれなので、参考になるかと思えます。</p>
4	語学留学、研究留学どちらが重視される、多いなどありましたら教えてください。	<p>語学留学、研究留学どちらが重視されるかについては、選考の内容に関する事なのでお答えできませんが、ご自身の学習・研究計画のなかで、全学交換留学をどのように位置づけるか、それを他の人に分かるように申請書のなかで説明するかが大事だと思います。Go Globalウェブサイトには、多くの留学経験者の体験談を掲載（<a href="https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/report-list-USTEP.html">https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/report-list-USTEP.html</a>）していますので、そちらをご覧いただければ、ご自身が希望される協定校に留学した学生がどのような目的で全学交換留学に参加されたか参考になるかと思えます。</p>
5	単位の認定が難しく、留年または卒業を1年伸ばすことが前提になるとの話を聞いたのですが、本当ですか？	<p>単位の認定関係は、学部・研究科ごとに方針がありますので、そちらに確認してください。実際に留学した学生が、留学の前後でどのように本学の授業を履修していたか、留学先で取得した単位をどの程度認定したか、何年かかって卒業したかも、留学体験記に記載（<a href="https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/report-list-USTEP.html">https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/report-list-USTEP.html</a>）されていますので、ぜひご自身で調べて計画を立ててください。ただ、多くの場合、卒業にかかる時間が、標準修業年限より伸びるケースが多いのが現状です。</p>
6	学内選考の後、協定校での選考に置いて判断材料として使われる成績はどの期間のものですか？	<p>協定校によります。協定校によっては、学内選考を通過した後、協定校に申請するまでの間に、「最新の学業成績」や、「履修中の授業」のリストを出させたりすることもあります。</p>
7	1) 協定校の授業と教養学部の授業を同時に受け、単位を取ることが可能なのでしょうか？2) 自分のもらった後期の内定は工学部ですが、協定校に経済の授業をとることができませんか？	<p>1) について。協定校に留学している間、本学の授業をオンラインで履修することについては、東京大学の規則に基づき、留学時に所属する学部・研究科が対応を検討・決定しますので、留学時に所属する学部・研究科の担当部署に確認・相談してください。</p> <p>2) について。工学部の学生が派遣先の協定校で経済分野の授業を履修できるか、して良いかについては、検討している協定校の授業リストに経済分野の授業があるかを調べるとともに、本学での留学時の所属学部、質問いただいた方の場合は工学部の担当部署に相談してください。</p>
8	留学に伴う留年率はどれほどか(1.学部毎の内訳、2.留学期間毎の内訳 も教えていただきたいです)。	<p>留年率をまとめたデータは本部国際交流課では保有していません。実際に留学した学生が、留学の前後でどのように本学の授業を履修していたか、留学先で取得した単位をどの程度認定したか、何年かかって卒業したかも、留学体験記に記載（<a href="https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/report-list-USTEP.html">https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/report-list-USTEP.html</a>）されていますので、参考にしてください。標準修業年限で卒業した学生もいますが、多くの場合、卒業にかかる時間が、標準修業年限より延びるケースが多いのが現状です。</p>
9	医学系研究科公共健康医学専攻の修士生で以前に留学を行った前例があれば、その留学先を教えてください。	<p>自分の所属学科で、過去に全学交換留学に参加した人がいるのか知りたい場合は、所属の学部・研究科（<a href="https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/contact-department.html">https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/contact-department.html</a>）が情報を把握していると思いますので、まずそちらにお問い合わせください。学部・研究科で把握していないような内容については、適宜、所属の学部・研究科から本部国際交流課に質問を転送いたしますので、その場合は本部国際交流課から回答します。</p>
10	後期課程でも応募できるのでしょうか。また、後期では学部独自の留学があるのか、そしてGPAの算出については後期ではどのように行うのか知りたいです。	<p>もちろん、3、4年生でも応募できます。後期課程の場合、進学先の学部で、部局間交換留学として、独自の協定校がありますので、そちらに留学する学生もいます。GPAについては説明でも触れましたが、東京大学では算出していません。ご自身で参考サイトの情報をもとに算出いただくこととなりますが、最終的には、協定校側が、提出された成績証明書などをもとに判定します。GPAについては、FAQにある「その他全般について」のQ3をご参照ください。（<a href="https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/application-tips-USTEP_FAQ">https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/application-tips-USTEP_FAQ</a>）</p>
11	履修科目としてresearch projectに参加したい場合の流れを知りたいです。(派遣を希望する協定校での希望指導教員とのコンタクトなどはいつ取ればいいのか)。	<p>大学院生の方の研究指導委託としての留学の場合に限っては、学内申請前に指導を希望する協定校の教員等に予め直接連絡することを推奨しています。</p>

12	国費留学生はこの留学プログラムに参加できますか。できるのであれば、学費の件はどうなりますか。	国費留学生の方も、全学交換留学に応募することは可能です。ただし、推奨はされていません。また、国費留学生としての奨学金は、留学期間中は受け取ることができません。
13	経済学部において前期、後期過程に跨る留学を認めないと書いてあるのですが、今募集を行っている交換留学に参加した場合経済学部には進めないということでしょうか？	「前期、後期過程に跨る留学を認めない」というのは、文字通り、経済学部に進学する場合、留学中に進学ができないということです。経済学部への進学を希望し前期課程在学中に交換留学に参加を希望される場合は、経済学部への進学時期を交換留学終了後に設定する必要があるという意味です。交換留学に参加した場合経済学部に進学ができないという意味ではありません。前期・後期課程に跨る留学については、留意事項が多くありますので、募集要項をよく読み、関係部署、具体的には、現所属と、進学する可能性のある学部すべてとよく調整するようにしてください。
14	理科三類から医学部に進学予定のものです。全学交換留学の制度を使って、学年を落とさずに1セメスターでも留学することは6年間の内可能ですか。	学年を落とさずに留学することが可能かについては、ご自身の履修状況・履修計画、それが進学先・進学予定先の学部で可能であるかによりますので、進学先・進学予定先の学部によく相談してください。
15	4年間で(留年せずに)卒業した過去の例。留学先大学との単位交換について。いつ頃から後期課程の教員と単位の交換が可能かどうかについて相談し始めた方がいいのか。	4年で卒業した例は、多くはありませんが、あります。単位交換については、気になる点があれば今からでも、後期課程に相談してみてください。具体的には後期課程の教員ではなく、後期課程の、教務や学務の係やチームが、相談先になります。(https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/contact-department.html)
16	卓越大学院を履修している人も申請できますか。	卓越大学院の学生でも、全学交換留学に応募することはできます。ただし、卓越大学院での履修や研究の計画があると思いますし、奨励金等について独自のルールがありますので、卓越大学院の担当部署によく相談してください。
17	進振りによる留年中や降年中、または休学中でも留学は可能でしょうか。	留年中や降年中、休学中でも申請はできます。ただし休学については、留学開始までに復学しなければ、全学交換留学には参加できないことにご留意ください。FAQの「その他全般について」のQ2の通りです。(https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/application-tips-USTEP_FAQ)
18	(1)Do we need to submit effective language score by the time of internal screening? (2) Can we do courses other than that offered in the applied faculty of the partner university and transfer the credits? (3)How does the exchange apply to PEAK students and April-entry students differently?	(1) You need to submit effective language test score by the designated due date to submit applications to your affiliated faculty/graduate school. (2) You need to carefully check what kinds of courses the partner universities offer to exchange students. Some partner universities have a limited list of courses available for exchange students. Other partner universities set prerequisites to register for courses. In regards to transferring credits, please contact the relevant office of your affiliated faculty/graduate school. (3) PEAK students can apply for USTEP and there is no difference between them and students in other courses. Some partner universities set exemptions for students who can submit a certificate of enrollment on degree courses/programs offered in English. Please note that students who entered UTokyo by the general admissions or the Special Screening for graduates of overseas high schools and have transferred or are transferring into degree programs offered in English after their second year (Shingaku-Sentaku, or Admissions to Senior Division) are required to submit the score, though. For more details, please refer to "9.Details of the documents certifying language proficiency" in the application guidelines.
19	ドイツ大学の交換留学生プログラムは、授業は英語で行われるのですか？	興味がある協定校それぞれの情報をご自身で確認してみましょう。
20	指導教員について、該当する先生が不在(休暇などをとっており)推薦不可の場合の対応法について教えてください。GPAの加算開始時期は1年の入学からでしょうか。	(1点目)募集要項に記載の通り、推薦書を記載する教員は、指導教員ではなくても、担任教員、授業登録をしている教員など、申請者の人物を把握できる本学教員であれば結構です。 (2点目)本学ではGPAを算出していませんが、学内選考でどの時期からの学業成績を選考の対象にするのかという趣旨でしたら、大学入学以降全学期の成績で、UTASで自動計算されます。協定校側の選考においてどの成績を用いるかは、協定校によりますので、不明です。なお、GPAについては、FAQにある「その他全般について」のQ3をご参照ください。(https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/application-tips-USTEP_FAQ)
21	I heard that it is difficult for students under the Faculty of Engineering to apply for an exchange unless we sign up for an extra year (due to credit requirements). I would like to know if this is true, or whether it would still be possible.	Please consult with the relevant section of the faculty/graduate school that you are scheduled to belong to at the time of the study-abroad. If you want to know actual study plans which students of the Faculty of Engineering took, please refer to the OICE website where you can read reports of students who participated in study abroad programs including USTEP. They include the details of their study plans and how many years it took to graduate, so you will be able to understand the overall image.
22	(1)コロナによって渡航が実現しない場合は留学がなかったことになるだけなのか、それとも、オンライン留学などの対応もありうるのか、知りたいです。 (2)各大学の締め切りや募集の要件などがわかりにくい。資料がいろいろなところにあってどれから見れば良いのか分からない。	(1点目)新型コロナウイルスの影響で渡航が実現しなかった場合、協定校によっては、オンライン留学の選択肢を示してくれるケースがあります。その場合、2021年度秋学期の方針では、皆さんの所属の学部・研究科がオンライン留学を認め、皆さんが希望するのでしたら、オンライン留学が可能でした。ただしオンライン留学を提供する協定校は多くありません。 (2点目)関連する資料は、Go Globalウェブサイトの、全学交換留学のページ(https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-list-USTEP.html)、およびそこからたどれるページや掲載された資料に掲載されています。知るべきことがたくさんあって大変かと思いますが、ご自身で調べて準備を進めることも重要な経験ですので、前向きにとらえて取り組みましょう。まず読むべきは、募集要項です。資料を確認された上で不明な点があれば、所属の学部・研究科の担当部署(https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/contact-department.html)経由で、お問い合わせください。
23	学部4年から修士1年にかけての時期にかぶる様な留学は可能ですか。また、半年間(1セメスター)の留学を行うために学士課程の卒業時期を半年遅らせることは可能か。	(1点目)留学中に、学部4年生から修士課程に進学することはできません。ただし、学部4年生のときに全学交換留学に申請して学内選考を通過し、修士課程に進学した後、全学交換留学で派遣される、ということは、可能です。 (2点目)留学期間が半年であるか1年であるかに関わらず、卒業時期を遅らせることができるか、といったことについては、所属学部によく確認してください。全学交換留学参加中に卒業し、学籍を失うと、全学交換留学を継続することはできません。
24	理系学生が全学交換留学に行こうとする場合、大半の場合には一年間卒業を遅らせることになると思います。一年留年しなければ長期留学できないということであれば留学へのハードルは明らかに高くなります。東大は学生の留学や国際経験を積むことを勧めようとしていますが、この点に関して矛盾しているように思えてしまいます。理系学生が留学をしても単位互換を認め、4年で学部を卒業できるようにはしないのでしょうか。	現状として、全学交換留学に参加する学生の多くが、標準修業年限での卒業ができていないこと、また、それが留学の障壁となっていることについては、大学本部でも承知して、解決に努めています。なお、近年、前期課程・後期課程に跨る留学を認める学部もありますので、ご参考にお知らせいたします。なお、現状でも単位互換、つまり留学先で取得した単位を認定することは可能であり、学部・研究科によっては必須としているところもあります。ただし、単位認定については、留学時に所属する学部・研究科(https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/contact-department.html)に、事前によく確認するようにしてください。
25	学部4年の秋学期からの留学をする際に、修士に進むのではなく、学部での在学期間を延長することは可能ですか？	学部での在学期間を延長することが可能か、どのような手続きが必要かについては、留学時に所属する学部・研究科(https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/contact-department.html)にご確認ください。
26	私は東京大学に所属する中国人の留学生です。中国の大学の交換留学を申請できないでしょうか	協定校情報一覧をご確認ください。少ないですが中国籍の学生を受け入れている中国の協定校はあります。

27	第一希望と第二希望の志望動機欄で内容に大きく乖離がある場合に学内選考で不利になることはありますか？	学内選考のプロセスについては、公開しておりません。
28	公共政策大学院の学生です。公共政策教育部によるダブルディグリー留学プログラムにも出願を検討しているのですが、併願することは可能ですか？	全学交換留学については、説明でも触れました通り、新型コロナウイルスの影響によるもの以外での理由での辞退を基本的には認めていません。公共政策教育部のダブルディグリープログラム側での併願制限がある可能性がありますので、それについては、公共政策教育部の担当部署に確認してください。
29	経験者と連絡を取りたい場合は本部国際交流課に連絡、とのことでしたが、全学ではなく学部内留学の場合も、本部国際交流課でいいのでしょうか。	本部国際交流課は全学交換留学を所掌する部署で、部局間交換留学は担当していませんので、部局間交換留学の経験者と連絡をとりたい場合は、その学部/研究科の、交換留学担当部署にお問い合わせください。 ( <a href="https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/contact-department.html">https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/contact-department.html</a> )
30	英語圏外でも英語を学ぶことができる大学があるとおっしゃっていましたが、ETHなど募集要項にドイツ語の要件が課されている場合はドイツ語の語学力を証明できるものが必要なののでしょうか。	英語のみで科目履修をする場合は、ドイツ語の語学能力を証明する書類の提出は一般的に不要です。協定校のファクトシート等を確認したうえで不明であれば、所属学部・研究科の担当部署にお問い合わせください。
31	交換留学に選ばれる前に奨学金を申し込み奨学金を獲得できたものの、交換留学に選ばれなかった場合、奨学金を辞退することは可能ですか？	質問の内容から、学外団体の奨学金についてのご質問という前提で回答します。奨学金の辞退の可否や期限については、奨学団体ごとにルールを定めていますので、奨学団体に確認するようにしてください。
32	大学以外の留学プログラムを並行して申し込むことはできますでしょうか？	全学交換留学の側では、学外のプログラムとの併願自体についての制限はありません。ただし、学内選考後の辞退は、原則不可となりますので、ご注意ください。
33	面接は日本語ですか、それとも英語ですか？ Will the interview be conducted in English or Japanese?	面接については、実施形式や内容、対象者を含め詳細は公開しておりません。
34	語学要件を満たしていないものの、他に学内で該当大学への交換留学を望む応募者がいない場合、採用されることはありますか？	語学要件を含め、協定校が定める交換留学生の資格を有することが、応募条件です。語学要件を満たしていない場合、交換留學生には採用されません。
35	最終的に一つの奨学金に絞る前提で、複数の奨学金(提供団体)を検討・応募するのは可能なのでしょうか？	複数の奨学金を検討・応募いただくこと自体は可能です。ただし、説明でも触れた通り、特に東京大学として採用候補者を推薦する奨学金については、辞退によって今後の東京大学からの推薦枠に影響が生じる可能性がありますので、よく検討し、奨学団体にご迷惑がかからないようにしていただきたいと思えます。
36	これまでの学部生で、学部内留学と全学留学のどちらもありました、という学生はいるのでしょうか。	いと承知しています。ただし、留学の期間の上限があることにご注意ください。FAQの「その他全般について」のQ11をご確認ください。 ( <a href="https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/application-tips-USTEP_FAQ">https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/application-tips-USTEP_FAQ</a> )
37	有名大学では第一志望による応募が定員を超えることがあると思います。その場合たとえ成績や語学試験のスコアが他の第1志望者よりも優れていたとしても、第2志望以下に書いた場合は合格することはないのでしょうか。	学内選考のプロセスについては、公開しておりません。ご自身が希望する順に、志望順位を記載することをおすすめします。
38	全学交換留学の募集は年に1回、秋のみ行われるのでしょうか。それとも春などにも行われるのでしょうか。	秋にも春にも募集します。2021年9月現在募集中の秋募集のほうが、規模が大きいです。春募集で募集するのは、前年度の秋の募集で余った派遣枠および、春募集までに加わった新規協定校の派遣枠となります。募集については、全学交換留学のページを参照してください。 ( <a href="https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-list-USTEP.html">https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-list-USTEP.html</a> )
39	TOEFLの点数などを申請締め切り後に提出可能な場合はありますか。	学内選考の締切後、学内選考にあたり語学スコアを追加したり差し替えたりすることは認めていません。語学スコアについては、各学部・研究科での応募締切日時点で協定校が要求する語学要件を満たし、募集要項に記載された基準日時点で有効期限内の証明書を提出すること、となっていますので、注意してください。詳しくは、「派遣候補学生募集要項(2022-2023年秋募集)」募集要項をよく確認してください。 ( <a href="https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/application-tips-USTEP.html">https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/application-tips-USTEP.html</a> )
40	1年間休学の申請をしたうえで、学部4年の9月から留学する人はいますか。	学部4年の9月から全学交換留学に参加する学生はいます。「1年間休学」については、留学前後のいつの時期を指しているのか不明ですので、回答は割愛します。なお、全学交換留学中の学籍は、休学ではなく、留学または研究指導委託です。休学の状態で留学することはできません。
41	非英語圏の学校に留学する場合、どの程度の語学力が必要になるのでしょうか。初修第二外国語が母語である国の協定校を選んだ際には、どの程度のレベルまでを独学で上達させる必要がありますか。	それぞれの協定校が定めている、語学力の基準をご確認ください。「初修第二外国語が母語である国の協定校を選んだ際に必要な語学力のレベル」については、もし、当該言語で授業を履修するのでしたら、同じく、協定校が定めている語学基準をクリアすることが応募の前提になります。そうでない場合は、当該国での生活にあたり、当該言語がどの程度必須とされる環境かによりますので、当該国に留学した学生の留学体験記 ( <a href="https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/report-list-USTEP.html">https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/report-list-USTEP.html</a> ) などを確認してみてください。
42	正規課程に在学中の留學生で、母国にある大学(国籍制限および語学要件を設けていない大学)へ交換留学を希望の場合でも、英語などの語学成績が必要でしょうか。	協定校によりますので、協定校情報一覧や協定校ウェブページをまずはご確認ください。それでもわからない場合は、学内募集要項に記載の問い合わせ方法でお問い合わせください。 ( <a href="https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/application-tips-USTEP.html">https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/application-tips-USTEP.html</a> )
43	相手校に送る成績証明は、締切時点のものでないといけないのでしょうか？ 成績の関係で次のAセメ試験終了後時点の成績でないとGPAが足りないと思うのですが...	学内申請時、協定校への申請時は時期が異なりますので、それぞれの時点で最新の成績証明書を提出することになっています。なおGPAについては、FAQにある「その他全般について」のQ3をご参照ください。 ( <a href="https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/application-tips-USTEP_FAQ">https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/application-tips-USTEP_FAQ</a> )
44	大学院で指導教員への事前連絡とは、学内選考の前後どちらにしたほうがいいのでしょうか？	協定校での指導教員という趣旨でしたら、学内選考に先立って連絡していただいて結構です。学内選考後でも構いませんが、学内選考を通過してから指導を希望する教員にコンタクトを取って、結果的に「受け入れられません」と言われることも可能性としてはあり、そうなるもそれを理由に他校への振り替えは認められませんので、協定校で研究指導を受けることを希望する場合は、学内選考前にコンタクトをとることをお勧めします。なお、これは、研究指導委託を希望する大学院生に限って、協定校への直接連絡を認める例外措置です。
45	語学条件で使うテストのスコアが東京大学に提出した後に延びた場合、協定校には高い点数の方を提出することはできるのでしょうか？	協定校への申請締切に間に合えば、一般的には可能です。

46	<p>Go Global Webサイトが、サイトマップがないなど、何がどこに書いてあるのかわかりません。ウェブサイトは理解できなかったので直接誰かに相談したいです。今私は前期教養の2年生ですが、教養学部あるいは進学先の学部の、どのような部署に連絡すればいいですか。Webサイトを探してもたらい回しにされるような状況なので、「どこの誰になのか」というような具体的な回答を希望します。(なお、私が発見した <a href="https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/contact-department.html">https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/contact-department.html</a> このサイトでは、教養学部などの担当部署が掲載されていますが、地図が書いてあるだけで連絡先等はわからず、今実際あいているのかも確認できません。)</p>	<p>Go Globalウェブサイトについてのご意見については、今後の改修の際、反映にさせていただきます。教養学部の学生向けのウェブサイトは複数存在しており分かりにくかったようなので、ウェブサイトに補足説明を追記しました。( <a href="https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/contact-department.html">https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/contact-department.html</a> )</p>
47	<p>TOEFLの点数などが語学要件を満たしていることの証明はいつ、どこに提出するものですか。</p>	<p>派遣候補学生募集要項(2022-2023年秋募集)をよく確認してください。( <a href="https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/application-tips-USTEP.html">https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/application-tips-USTEP.html</a> )</p>
48	<p>学内の短期派遣プログラムに参加すると長期留学プログラムの選考で不利になることはありますか。また、来年度の春または夏の短期派遣プログラムの募集等はいつあるでしょうか。</p>	<p>学内選考のプロセスについては、公開しておりません。ただし、学内の短期派遣プログラムに参加すると長期留学プログラムの選考で不利になることは一般的にはありません。また、短期派遣プログラムの募集があるかや募集時期については、新型コロナウイルスの影響で例年と異なる可能性が高いです。Go Globalウェブサイトをこまめにチェックするとともに、よろしければ、募集開始情報等が届くSNSをフォローください。( <a href="https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/contact-search.html">https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/contact-search.html</a> )</p>
49	<p>後期課程においての東京大学での専攻と異なる分野を学ぶ学部に留学はできますか。例えば、理学院に所属するが、留学先では教育を学びたいなどのケースです。</p>	<p>留学時に所属する学部・研究科の担当部署にご相談ください。( <a href="https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/contact-department.html">https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/contact-department.html</a> ) また、所属大学と異なる分野の学部・研究科への申請を認めない協定校も多くありますので、協定校のファクトシートやウェブサイト、協定校情報一覧を確認し、不明な場合は募集要項に記載の所属学部・研究科の担当部署に問い合わせください。</p>
50	<p>「1年間の留学&amp;東大をどこかのタイミングで休学」という方が多いとうかがいますが、そのような方はどのタイミングで休学を開始するのでしょうか。</p>	<p>留学体験記に、それぞれの学生の、留学前後の授業履修のタイミングなどが載っていますので、ご参照ください。( <a href="https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/report-list-USTEP.html">https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/report-list-USTEP.html</a> )</p>
51	<p>UTASの申請画面にある成績評価係数はFact SheetのGPAとは別物という認識でよろしいでしょうか</p>	<p>別物です。GPAについてはFAQにある「その他全般について」のQ3をご参照ください。( <a href="https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/application-tips-USTEP_FAQ">https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/application-tips-USTEP_FAQ</a> )</p>